

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 1 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービス ウィズ西宮武庫川

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		指導訓練室等は十分な広さがあります。	
	2 職員の配置数は適切である		<input type="radio"/>		職員が欠如しているが改善予定。現在は改善済み。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		目立った段差などはありません。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		朝終礼や職員会議で行っています。	パート職員の参加や伝達が弱い所が改善点。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		毎年、アンケートでの保護者様からの意見を参考に改善している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページにて公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		今後、必要であれば検討します。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		積極的に研修に参加しています。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		アセスメントや保護者様との面談などでニーズや課題を確認し、計画を立てています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		独自のアセスメントツールを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている		<input type="radio"/>		個人で立案する事が多いので、今後は多くの意見を取り入れていきたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		感覚統合・図工・クッキング・音楽療法・外出など様々な取り組みを取り入れています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			長期休暇に時間を持って余す事もあるので、改善を考えています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		集団活動の参加を促していますし個別の活動も取り入れています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎日、朝礼を行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		毎日、終礼を行っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			日々の支援活動や、気になる出来事などを記録していますが、もう少し情報量を増やして行くべきだと考えています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	<input type="radio"/>			結果的には複数組み合わせさせて実施しているが、ガイドラインの総則を把握できていない職員もいる。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		各児の担当職員が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校からのプリントや先生との会話などで行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	今の所、該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前の事業所などと情報交換をしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—	今の所、該当なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修会に積極的に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		外出時や児童館に行った時に触れ合う機会はあります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		西宮市児童通所支援事業所連絡会に所属し、参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			出来ている部分もありますが、まだ足りないと思います。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		あまり出来ていないので改善が必要です。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			出来る限り行っていますが、十分とは言えないと思います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会などは開催していませんが、ご家族様も参加できるイベントを行っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○		体制の整備が十分に出来ていない部分があると思います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、ウィズ通信を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードなどを取り入れています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在のところ、行っていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		周知している所までは至っていません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		職員での訓練と、利用者も含めた訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修などを受けていますが体制の見直しが必要だと思います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	—	—	今のところ、身体拘束を行う事はありません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		利用前のアセスメントにて確認し、対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成し、共有しています。	